

# 中国語文法講座

## 指示代名詞と「是」構文

### 指示代名詞

人称代名詞については第1回の講座で学習しましたが、今回は「これ、あれ」などを表す指示代名詞を学びましょう。まず中国語においては日本語における「こそあど」の「そ＝それ」を表記する単語がありません。なので「这」や「那」で表されるということをまずは頭に入れて次の表を見てみましょう。

これ	あれ	どれ
这	那	哪
这个	那个	哪个
这些	那些	哪些

この内一番下の「些」がつくものは複数形で「これら/あれら/どれら」などと訳します。また「些」は複数ものを全体と捉えて訳すので具体的な数字を伴うもの「三些人＝三人の人」などとは言えずこの場合は「三個人」と言います。

またこの指示代名詞には主に二つ使い方があり

- ①単独で名詞の代わりをする「これ、それ、あれ」など
- ②修飾語として名詞の前に置く「このペン」「あの人」などの「この～」や「あの～」

用法	置く場所	使う代名詞
①単独で名詞の役割	主語	这/那 这个/那个
	目的語	这个/那个
②修飾語の「この～、あの～」	修飾語	这个/那个

この表を見てもらうと分かる通り、「これは～である」などと主語として指示代名詞を使いたいときは「这」単独でも「这个」でもどちらでも良いと分かります。しかし基本的に「这」「那」単体が主語となるのは「是」構文（テキスト後半をチェック）の時です。例えば

- ・这是电脑。－これはパソコンです。
- ・那是桌子。－あれは机です。
- \* 「这个是电脑」「那个是桌子」も可

しかし「这」「那」単体は目的語の位置に置くことも修飾語として使うことも文法ルール上はできません。目的語の位置に置いたり修飾語として用いたい場合は「这个」「那个」を使いましょう。

- ✕ 我要这。－私はこれが欲しい（目的語の位置）
- ✕ 那人。－あの人（修飾語の位置）
- ◎ 我要这个。－私はこれが欲しい（目的語の位置）
- ◎ 那个人。－あの人（修飾語の位置）

注意したいのは「哪」だけは「是」構文の主語の時であっても「哪」単独では使えません。

- ✕ 哪是我的手机？－どっちが私の携帯ですか？
- ◎ 哪个是我的手机？－どっちが私の携帯ですか？
- \* 「的」については（名詞句の連体修飾の「的」）を参照

## 「是」構文

「是」構文とは「AはBである」という言い方を表す表現になります。「是」も一種の動詞ですので第1回で出てきた動詞述語文と使い方は同じです。

	構文（（A=主語、B=目的語）	意味
肯定文	主語+是+目的語	AはBである
否定文	主語+不是+目的語	AはBではない
疑問文	主語+是+目的語+吗？	AはBですか？

## 例文

肯：老师是中国人。

否：老师不是中国人。

疑：老师是中国人吗？

\*ここでは登場しませんが疑問文には他にも「是不是～？」と言う反復疑問文もあります。

## 注意

①「不是」の「不」の声調は元々4声ですが後ろの音が4声の場合は2声になります。

（「不是 bú shì」 / 「不看 bú kàn」 / 「不会 bú huì」 など）

②否定表現には「不」と「没」の2種類がありますが、この「是」構文に「没是」という表現はありません。原則「不是=～ではない」の形で使います。